

資料1-2 (第1回)

府中市総合計画重点プロジェクト（府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）推進協議会 外部評価シート

プロジェクト	目標	取組	事務事業	担当課	R8年度における事業の位置付け	協議会評価	担当委員評価	評価の理由	担当委員
1	危機管理1 理対策の推進	① 感染症対策の充実	1 感染症対策事業	健康推進課	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	B 現状のまま継続 B 現状のまま継続	適切に対応しているため、現状のまま継続してもらいたいです 事業がすでに安定的に機能しており、目的達成に向けた大きな課題がないようであると認識したため、「B 現状のまま継続」とした。	小島委員 高橋委員
			2 介護保険サービス事業者の感染症対策事業	介護保険課	C-1 見直して継続（見直し・縮小）	C 見直して継続	C 見直して継続 C 見直して継続	新たな感染症が増える今日であるため、有事に向けたその対策は依然として重要であると思うからです。 事業の実施計画・実績や感染症に関する状況を踏まえると、介護保険サービス事業者への助言という特定の側面については、今後の実績やニーズの変化に応じた対応を検討するとしていると認識したため、「C 見直して継続」とした。	小島委員 高橋委員
			3 防災資材等整備事業（感染症対策物品）（災害用備蓄品）	防災危機管理本部	A 重点化・拡大して継続	A 重点化・拡大して継続	B 現状のまま継続 B 現状のまま継続	適切に対応しているため、現状のまま継続してもらいたいです 計画に基づいて、入替・必要資材・備品等の整備を進めるものと認識したため「B 現状のまま継続」としているが、重点化・拡大するポイントについてお教えいただきたい。	小島委員 高橋委員
		② 災害対策の強化	4 防災意識啓発事業	防災危機管理本部	A 重点化・拡大して継続	A 重点化・拡大して継続	B 現状のまま継続 A 重点化・拡大して継続	適切に対応しているため、現状のまま継続してもらいたいです 昨今、異常気象や自然災害などが発生しつづることから、市民の防災意識をさらに高める工夫を引き続き進めていただきたい。 防災ハンドブックや水害ハザードマップ、防災情報誌の配布によって意識向上が図られているかについては、どのように把握・評価しているか教えていただきたい。	小島委員 高橋委員
			5 災害時医療体制等整備事業	健康推進課	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	A 重点化・拡大して継続 B 現状のまま継続	R6のチェックで明らかになった課題点は重要事項であるため 引き続き災害発生時に備えた体制づくり等を推進いただきたい。 体制が整備されていない項目等の拡充や検討を進めるうえでの課題があれば教えていただきたい。	小島委員 高橋委員
	地域でつながり安心して暮らせるまちづくり	① ターの在り方の検討	6 文化センターの老朽化対策事業	地域コミュニティ課	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	B 現状のまま継続 B 現状のまま継続	令和8年度にスムーズに工事が始められるよう、現状のままの継続は必須とします。 現時点で外部要因（建設資材や人件費高騰）による影響を織り込み済みで、かつ大幅な事業計画の変更は不要と判断したと認識したため「B 現状のまま継続」とした。	小島委員 高橋委員
			7 コミュニティ圏内地域交流促進事業	地域コミュニティ課	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	C 見直して継続 B 現状のまま継続	R6年度の実績が、目標および前年度の実践のいずれにおいても下がっているため、各圏域文化センターのコミュニティ協議会に委託だけでよいのか。昭和52年度からの継続だけになっていないか、疑問に感じました。 事業内容の根本的な変更ではなく、質的な向上と地域ニーズへの対応に注力する方針と認識した。 参加者の意見収集や成果の把握はどのように実施しているか（しようとしているか）を教えてください。	小島委員 高橋委員
		② 地域における包括的な支援体制の充実	8 介護予防推進センター事業	高齢者支援課	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	B 現状のまま継続 B 現状のまま継続	適切に対応しているため、現状のまま継続してもらいたいです 介護予防活動は、高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で暮らし続けるために不可欠な支援であり、その拠点としての役割とアプローチを継続して実施いただきたい。 多摩地域の他市と比較して充実している事業とのことであるが、具体的にはどのような点が充実しているか教えてください。	小島委員 高橋委員
			9 地域福祉コーディネーター事業	地域福祉推進課	A 重点化・拡大して継続	A 重点化・拡大して継続	A 重点化・拡大して継続 A 重点化・拡大して継続	困りごと相談相談実績が増加していることから、一人ひとりに寄り添った支援を充実させるためにも、計画通りの増員が求められているため、地域福祉コーディネーター増員も支え合いの仕組みづくりを支援するコーディネート機能の充実化も、いずれも重点化すべきと思います。 相談件数が増加傾向にあることから、文化センターを拠点とした困りごと相談会の実施回数を拡充し、相談体制のさらなる充実を図ると認識した。 事業実施の成果についてはどのような形で把握されているかお教えいただきたい。また、困りごと相談会の相談内容の一部は共有知として多くの市民に共有したほうが良いものもあるかと思うが、その前に相談会の内容に関する地域福祉コーディネーター間での共有等は実施しているか（相談対応の品質や効率の向上を意図しています）？	小島委員 高橋委員
			10 地域包括支援センター事業	高齢者支援課	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	B 現状のまま継続 B 現状のまま継続	相談受付件数（延べ件数）の減少は、事業の成果が出ている証として、むしろよいことではないだろうか。地域の関係機関との連携の深化が重要と思います。 地域包括支援センターを中心に、高齢者サービスに係る支援、サービスの充実や質の向上が図れていると認識した。 地域包括支援センター相談受付件数は計画値よりも例年低いようであるが、相談体制の更なる充実が必要としている点について補足いただきたい。（「現状の体制が不十分であるから、相談受付件数が低くなっている」ということでしょうか？）	小島委員 高橋委員
	③ 暮らしに関わる施設の安全対策の推進	① 市庁舎建設事業の着実な遂行	市庁舎建設課	新庁舎建設推進室	B-1 現状のまま継続（大幅な見直しは必要ない）	B 現状のまま継続	B 現状のまま継続 B 現状のまま継続	適切に対応しているため、現状のまま継続して頂きたい。 事業は順調に進行していると認識した。引き続き、事業進行いただきたい。	中島副会長 高橋委員
		② リサイクルプラザの整備	リサイクルプラザ管理運営課	資源循環推進課	C-1 見直して継続（見直し・縮小）	C 見直して継続	B 現状のまま継続 C 見直して継続	R8年度における事業の位置づけが「B-1」ではなく「C-1」となる理由について、明確にして頂きたいです。「事業の位置付けの詳細と今後の方向性」の内容をみても「C-1」となる理由が読み取れません。 ごみの処理は適正に安定して実施されているが、経年劣化が進行するリサイクルプラザの整備の進捗が計画通り進行していないと認識した。リサイクルプラザの整備においては計画等の見直しを適宜実施いただきたい。	中島副会長 高橋委員